

# 風土フォーラムに寄せられた意見等一覧

## 【産業文化】

	内 容
1	軽井沢名誉町民について、町勢要覧等には偉業が記されているのみだが、町内での活躍についてもっと周知したらどうか。
2	商店街の空き店舗を減らすために、町で借り上げて、美術品の展示をしてはどうか。
3	天然のからまつを有効利用するための施策を検討したらどうか。
4	転入手続き時に、軽井沢文化についての説明をしてはどうか。
5	大賀ホールイベントに子供を招待し、文化・芸術にふれさせる機会を増やしたらどうか。
6	旧住民、新住民共に「変な観光地になることは嫌。」という共通の気持ちがあるので、軽井沢を良くしたいという想いでまちづくりを進めたらどうか。
7	各団体の連携や交流を気軽に行うことのできる、活動のプラットフォームを作ったらどうか。
8	くっかけテラスを中心とした中軽井沢地域の観光振興を進めたらどうか。
9	発地休耕田の有効利用として、古代米を作り、周囲にドジョウを飼ったらどうか。
10	ビジネスライセンス制度を導入したらどうか。
11	芸術家（作家等）の活動をバックアップしていく取り組みを検討したらどうか。
12	子ども達にいろいろな体験をさせて、学ばせる取り組みをしたらどうか。
13	データセンターの誘致等により、国の中でも最速レベルのネットワーク環境を整備したらどうか。
14	移住者のために、おせっかい機能をもった団体等により町の暗黙のルールや緩やかな基準等について情報発信してもらいたい。
15	条例や、要綱等により町の方針（営業ルール等）を示し、旧軽井沢の大衆化を食い止めるようにしたらどうか。
16	小中学生には、知識の詰め込みだけではなく、感性を育てる教育もするべきだと思う。感受性の強い時期に、優れた芸術文化にたくさん触れさせるとよい。
17	子供たちの感性を育てる事を目的とする塾があるとよい。（学校のカリキュラムに組み込めるならその方がよい。）子供たちに音楽を聴かせて、そこから受けるインスピレーションを絵にする授業や、一つの題材から子供たちがリレー方式で物語を作っていく授業を行うなど、子供たち自身に考えさせる事ができるカリキュラムを検討したらどうか。

18	軽井沢には ISAK（全寮制インターナショナルスクール（高等学校））があり、国際交流を図るチャンスがある。まずは町職員が生徒と定期的にテーマを決めた勉強会（意見交換会）を実施すれば、お互い学ぶ過程で色々なノウハウを身に付けられ、業務に活かせるヒントも得られるのではないかと。そして将来的には、ISAK の生徒と町民が交流していけるとよい。
19	ISAK の生徒はいずれ海外の大学へ進学する可能性があるため、今から繋がりを持てば、その人を通じて海外の大学との絆がうまれるかも知れない。